



電気学会 A 部門 研究者育成セミナー

AI×英語で研究を加速する実践セミナー

～若手研究者・学生・技術者のための実践講座～



先着 80 名！

2026 年 8 月 吉日

「AI を研究にどう取り入れればよいかわからない」

「英語での発表や海外研究者とのコミュニケーションに自信がない」

研究の進め方も、世界への発信も、このセミナーで学べます。本セミナーは、そのような学生、若手研究者、企業技術者の皆様を対象とした実践講座です。

近年、材料・物性研究をはじめとする研究開発の現場では、機械学習やシミュレーションなどの AI 技術を活用する機会が急速に広がっています。一方、研究成果を国際的に発信し、海外の研究者や技術者と協働するためには、英語によるプレゼンテーション力とコミュニケーション力が不可欠です。

本セミナーでは、第一線で活躍する講師を迎え、

- AI・機械学習を研究開発に取り入れるための考え方
- AI とシミュレーションを融合した材料・物性研究の事例
- 「工学と人と社会」の 4 つの基礎：工学者・企業技術者に必要な (1) 人為的損失回避、(2) 工学倫理、(3) 環境負荷低減、(4) 知的財産
- 工学者と企業若手技術者のための 4 基礎の英語教育（内容言語統合型学習を利用した 4 基礎の英語教育実践）

を、具体的な事例を交えながら分かりやすく紹介します。

AI を活用して研究を加速し、その成果を英語で世界へ発信する。

これからの研究者・技術者に求められる 2 つの力を、一度に学べるセミナーです。

専門分野や英語力を問わず、これから研究や技術開発に取り組む学生・若手の皆様のご参加を歓迎します。

このような方におすすめです

- ✓ AI を研究に活用したい学生・大学院生
- ✓ AI を活用して研究・技術開発を効率化したい研究者・企業技術者
- ✓ 製品設計等における人為的損失回避、工学倫理、環境負荷低減、知的財産に関心のある方
- ✓ 「工学と人と社会」の 4 つの基礎を英語で理解・発信したい方
- ✓ 企業内あるいは大学・高専で技術英語教育に関心のある方

開催概要

日時：2026年9月2日（水） 13:00～17:00

会場： 朱鷺メッセ 中会議室 301A（会場 A）

対象： 学生、大学院生、若手研究者、大学・高専教員、企業技術者など

※なお、専門分野や AI の利用経験、英語力は問いません。

プログラム

13:00～13:10 開会挨拶

電気学会 A 部門大会実行委員会

第 1 部 AI で研究開発を加速する

13:10～14:40（90 分）

AI が変える材料・物性研究の最前線

ー 汎用機械学習ポテンシャルは研究をどう変えるか ー

講師：Matlantis 株式会社 青木 裕太 氏

AI・機械学習は、材料探索や物性予測、シミュレーションの高度化など、研究開発のさまざまな場面で活用され始めています。本講演では、材料・物性研究に AI を導入する基本的な考え方から、汎用機械学習ポテンシャルを活用したシミュレーションと研究開発の最新事例までを紹介します。

主な内容

- AI を活用した材料・物性探索
- 機械学習とシミュレーションの融合
- AI を用いた研究開発の具体的事例
- 研究者・技術者が AI を活用する際のポイント
- AI 活用の可能性と今後の展望

<講演 70 分、質疑応答 20 分>

14:40～14:50 休憩

第2部 工学系英語教材の協働開発とその実践

14:50～17:00 (130分)

工学者・企業若手技術者に必要な4つの工学基礎「人為的損失回避、工学倫理、環境負荷低減、知的財産」とその英語教育実践

講師：①長岡工業高等専門学校 青柳 成俊 先生
②東京工業高等専門学校 櫻村 真由 先生

工学者または企業若手技術者に向けて、「工学と人と社会」の4つの基礎「(1)人為的損失回避、(2)工学倫理、(3)環境負荷低減、(4)知的財産」に関する内容を系統的に学べる教育の機会が必要と考え、そのコンテンツを英語教材として開発し実践しました。これら4つの基礎は世界共通の重要な概念であり、工学者や企業若手技術者に必要な基礎力と思います。内容と言語を統合的に学ぶ CLIL (Content and Language Integrated Learning) で開発した4基礎の英語コンテンツを紹介いたします。

主な内容

- 「工学と人と社会」の4つの基礎：工学者・企業技術者に必要な(1)人為的損失回避、(2)工学倫理、(3)環境負荷低減、(4)知的財産
 - 工学者と企業若手技術者のための4基礎の入門英語教育（内容言語統合型学習を利用した4基礎の英語教育実践）
 - CLIL（内容言語統合型学習）とは
 - 4基礎の英語教材の開発プロセス
 - (1)人為的損失回避、(2)工学倫理、(3)環境負荷低減、(4)知的財産の各英語教材の紹介、実践および受講者のアンケート結果からみえてくること
- ※講義に加え、簡単な演習や参加型の内容を予定しています。

17:00 閉会

参加費

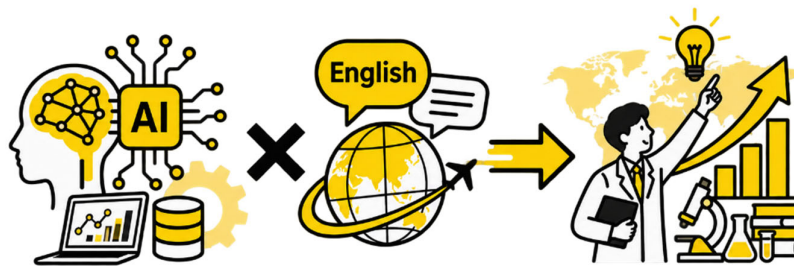
区分	参加費
A 部門大会参加者（一般）	3,000 円
A 部門大会参加者（学生）	1,000 円
セミナーのみ参加（一般）	5,000 円
セミナーのみ参加（学生）	2,000 円

※申込は下記の Peatix からお願いします。

<https://peatix.com/event/5127624>

先着 80 名！

あなたの研究の未来は、AI と国際発信力で変わる



研究活動の次の一步につながる、学生・若手研究者・技術者の皆様のご参加をお待ちしています。